



JASDAQ

平成20年5月8日

各 位

株式会社 焼肉屋さかい
代表取締役社長 緒方 智
(JASDAQ・コード：7622)
問合せ先 取締役管理本部長 乗松 康弘
TEL：052(910)1729

平成20年3月期 通期業績予想との差異に関するお知らせ

平成19年11月12日付の「平成20年3月期中間決算短信（非連結）」にて発表いたしました平成20年3月期（平成19年4月1日～平成20年3月31日）の通期業績予想との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成20年3月期通期業績予想数値の差異（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	11,587	602	501	406
今回修正予想(B)	11,467	813	688	654
増減額(B-A)	▲120	211	187	248
増減率	▲1.0%	35.0%	37.3%	61.1%
(ご参考) 前期実績(平成19年3月期)	12,317	▲131	▲248	▲777

2. 差異が生じた理由

平成20年3月期の通期（下期）の方針としまして、上期において店舗運営の効率化・収益体制が定着したことにより、その体制継続とともに新規出店を加速させていくことといたしておりました。具体的には新規出店として9店を計画しておりましたが、当社の出店基準に該当しない或いは賃料その他の条件において折り合いがつかず、出店を断念および延期した物件もあり、下期の直営店の出店は1店舗にとどまりました。

この結果、売上高におきましては、新規出店による売上高が減少したため、計画より未達という見込みとなりましたが、営業利益および経常利益面におきましては、この新規出店による開業時の初期費用の減少や収益体制の熟成により、2月度および3月度に計画を大きく上回る利益を計上し、特に3月度におきましては、繁忙期である12月度より若干売上高は減少しておりますが、12月度を上回る利益を計上するに至りました。当期純利益においては各利益における増加に加え、当期末決算における減損損失の検討において、計上の可能性がありました減損損失の減少などから、計画を上回る見込みとなりました。

この結果、通期における売上高につきましては11,467百万円、営業利益813百万円、経常利益688百万円、当期純利益654百万円の見通しとなり、通期の業績予想に差異が生じることとなりましたのでお知らせいたします。

以 上